

粉碎した粘土陶管の消臭効果評価

「測定・分析技術」

「研究機関/研究者」 下越技術支援センター ◇木嶋 裕太、笠原 勝次
 「委託元」 有限会社小田製陶所

ミニ共同研究

■ 目的

委託先企業は暗渠排水用素焼陶管を製造している。その粉碎物を床下調湿材としても販売している。床下調湿材として使用される中でそれが消臭効果を持つことがわかった。その消臭効果を数値で評価するために実験を行った。

■ 研究内容

- 1 臭気物質(アンモニア、ホルムアルデヒド)に関する消臭効果測定。
- 2 粘土陶管無しのパランク測定

■ 研究成果

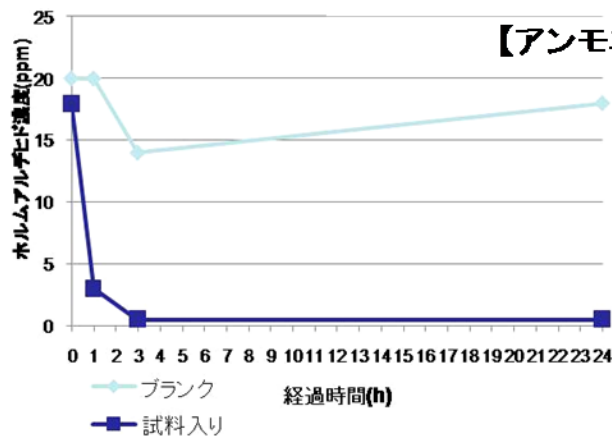
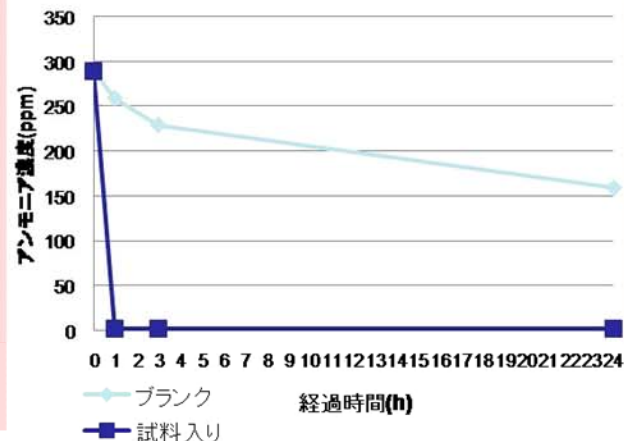
実験結果は右のとおり。粘土陶管を入れたデジケータの臭気ガスの濃度はなにも入れないもの(パランク)より低くなった。陶管入りのものは実験開始から1時間でもかなり濃度が下がった。この結果によりアンモニアやホルムアルデヒドに対する消臭効果がわかった。

■ 成果の展開

今回の実験で、粘土陶管の吸着効果がわかったので、消臭用途にかかわらず、粘土陶管の新たな用途が見つかるかもしれない。



【粘土陶管】



【ホルムアルデヒド実験結果】